



## 2020年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東  
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年11月期第3四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第3四半期	706	△16.9	△38	—	△59	—	△65	—
2019年11月期第3四半期	849	△21.5	△107	—	△125	—	△128	—

(注) 包括利益 2020年11月期第3四半期 △148百万円( —%) 2019年11月期第3四半期 △129百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第3四半期	△1.73	—
2019年11月期第3四半期	△3.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第3四半期	3,686	2,277	61.7
2019年11月期	4,017	2,449	60.8

(参考) 自己資本 2020年11月期第3四半期 2,273百万円 2019年11月期 2,443百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

## 3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,110	95.8	220	83.3	200	108.7	160	93.4	4.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年11月期 3Q	37,649,371株	2019年11月期	37,492,371株
2020年11月期 3Q	27,501株	2019年11月期	27,500株
2020年11月期 3Q	37,581,848株	2019年11月期 3Q	37,464,871株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年8月31日)における我が国経済は、年明けからの新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の拡大による世界的な経済活動の停滞等が続いていることにより、先行きが不透明な状況となっております。緊急事態宣言の解除後、徐々に経済活動は再開されてきているものの、感染症の収束に至るまでの見通しは立っておらず、今後の動向や影響について予測が困難な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景とした国内外の投資家の物件取得意欲に支えられ、不動産市場の堅調な市場環境を維持しておりますが、その一方で、今後の新規物件の取得にあたっては、取得価額と収益性のバランスを慎重に見極めることが必要となってきております。

また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などにより、利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。

インベストメントバンク事業においては、割安な不動産物件への投資・バリュアアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努めました。国内不動産につきましては、リースアップや各種の収益性向上施策を行った上で、販売活動を推進しております。また、当第1四半期に行った不動産再開発プロジェクトに対する投融資については、当第2四半期に収益計上を行うことができました。海外不動産については、バリュアアップ施策を行った米国カリフォルニア州の物件の販売を行いました。また、米国不動産のソーシング活動も継続しており、米国ワシントン州の物件を取得しマーケティング活動を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高706百万円(前年同期比16.9%減)、営業損失38百万円(前年同期の営業損失は107百万円)、経常損失59百万円(前年同期の経常損失は125百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失65百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は128百万円)となりました。

#### <アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は158億円(一部円換算US\$1.00=105.36円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は183億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高269百万円(前年同期比35.5%増)、セグメント利益109百万円(前年同期比123.2%増)となりました。

#### <インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入、不動産再開発プロジェクトに対する投融資等により426百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等により11百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高437百万円(前年同期比32.9%減)、セグメント利益47百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ330百万円減少し3,686百万円となりました。これは主に、販売用不動産が171百万円、営業投資有価証券が140百万円減少したことなどによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少し1,409百万円となりました。これは主に、未払金が67百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ172百万円減少し2,277百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失65百万円の計上と、配当金の支払いにより37百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は上記のとおりであり、2020年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大やその収束時期、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	898	692
売掛金	21	16
未収入金	55	137
有価証券	95	76
営業投資有価証券	507	366
販売用不動産	1,416	1,244
未成工事支出金	58	69
短期貸付金	34	27
立替金	188	296
その他	81	20
流動資産合計	3,357	2,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7	11
工具、器具及び備品（純額）	15	13
土地	402	402
有形固定資産合計	425	427
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	108	103
その他	125	207
投資その他の資産合計	234	311
固定資産合計	660	738
資産合計	4,017	3,686
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,077	374
1年内返済予定の長期借入金	6	39
未払金	107	40
未払法人税等	27	—
賞与引当金	—	17
預り金	3	2
前受収益	14	17
投資損失引当金	16	16
その他	50	33
流動負債合計	1,304	541
固定負債		
長期借入金	184	836
その他	78	30
固定負債合計	263	867
負債合計	1,567	1,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,171	1,179
資本剰余金	664	672
利益剰余金	479	376
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,313	2,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	45
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	129	46
新株予約権	6	3
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,449	2,277
負債純資産合計	4,017	3,686

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)
売上高	849	706
売上原価	560	345
売上総利益	289	360
販売費及び一般管理費	396	399
営業損失(△)	△107	△38
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
補助金収入	—	6
その他	0	0
営業外収益合計	4	10
営業外費用		
支払利息	8	19
資金調達費用	5	6
為替差損	7	5
営業外費用合計	21	31
経常損失(△)	△125	△59
特別利益		
その他	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
その他	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△125	△57
法人税、住民税及び事業税	2	3
法人税等調整額	0	3
法人税等合計	3	7
四半期純損失(△)	△128	△65
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△128	△65

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△128	△65
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△83
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△1	△83
四半期包括利益	△129	△148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129	△148
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	198	597	53	849
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	—	—	8
計	207	597	53	858
セグメント利益	48	31	8	88

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	88
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△199
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△107

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	269	426	11	706
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	269	426	11	706
セグメント利益又は損失(△)	109	69	△21	157

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	157
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△198
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△38

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。